

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れんげ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団支援と個別支援を組み合わせられること	個別支援で行った内容を集団支援の様子からも振り返り、例をもって伝えること 個別担当だけではなく職員全体で課題に向き合う場を設けること(ケース会議など) 子どもの様子を細かく共有すること	視点が広く、多くなるよう職員の技術向上
2	毎月個別に月間計画表を作成していること	個別支援計画とは別に今の子どもの状況にあった支援内容を準備すること その月の子どもの様子をお伝えすること	子どもの様子をより細やかに共有できるように伝える内容の標準化を行う
3	子どもそれぞれの発達特性に合わせた支援の実施	月間計画をもとに提供する支援内容を事前に確認し改善すること 個々の様子に合わせて細かく課題設定をすること	外部研修への参加や他事業所との連携勉強会を通して個々のスキルアップを図る 幅広い分野の教材等の情報収集を常時行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル類の周知	初回のみで内容に触れる機会が少ない 見えづらい箇所に設置されている	相談室内にも設置し、モニタリングの際にも内容に触れる 目につきやすい箇所に設置する
2	避難訓練実施の認知	実施日に欠席した方への対応不足 保護者様への伝達不足	実施前に職員間で伝えたい内容を共有を徹底する おたよりを用いて認知度を高める 欠席された方へは欠席日に実施されたことと次回の実施月を伝える(集団支援のみ利用)
3	中学生、高校生への支援	学年の高い利用者様が増えている 職員の学習機会が不足している	朝礼や毎月の会議等で教材を用いて学習する機会を事業所として確保する 外部研修の情報収集及び参加を行う